

豪雨・台風時の高速道路における 安心・安全の確保について

令和6年6月18日

西日本高速道路株式会社 九州支社



1. N E X C O 西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 近年の気象概況について
3. 西日本管内の激甚化・頻発化する災害について
4. 集中豪雨・台風への日頃からの備え
5. 台風の影響による早期の交通確保への取り組み
6. 広報について
7. 運輸事業者さまへのお願い

■ NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要



➤ 対象事務所：9事務所

➤ 対象延長：約1095km

■ NEXCO 西日本全体に占める九州支社の割合

	NEXCO 西日本全体	うち九州支社	九州支社の割合	備考
供用中延長	3,603km	1,095km	30%	
事業中延長	55km (166km)	0km (59km)	0% (36%)	新設事業の延長 ※1 ※3 (4車線化・6車線化事業の延長)
SA・PA数	313か所	95か所	30%	※2

※1 付加車線事業(修繕事業)の延長は含まない

※2 SA・PAの施設数は上下線別カウント。下関売店(関門トンネル人道口の自動販売機コーナー)は上表に含まない

※3 移管区間の延長は含まない

■ SA・PA 事業

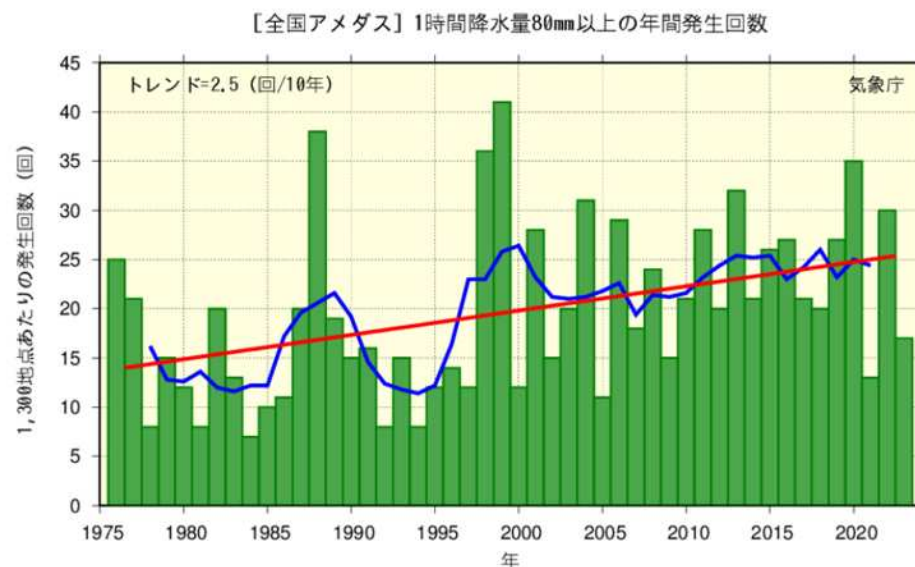
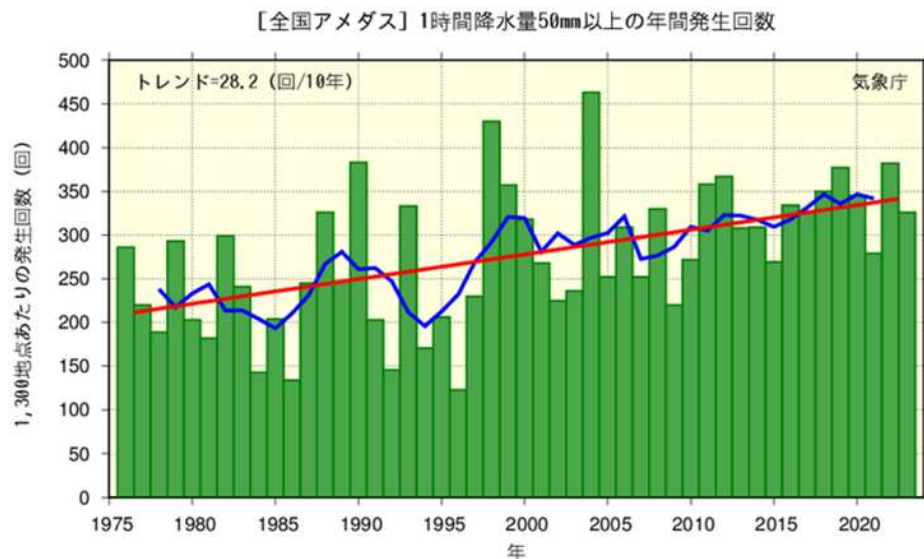
	施設数	営業施設有無		備考
		営業施設あり	営業施設なし	
サービスエリア(SA)	28か所	28か所	0か所	うち20か所に給油所あり
パーキングエリア(PA)	67か所	33か所	34か所	うち4か所に給油所あり
合計	95か所	61か所	34か所	

※ SA・PAの施設数は上下線別カウント

※ 下関売店(関門トンネル人道口の自動販売機コーナー)は上表に含まない

■ 近年の気象概況について

- ◆ 最近10年間（2014～2023年）における1時間降水量50mm以上の平均年間発生回数（約330回）は、統計機関の最初の10年間（1976～1985年）の平均年間発生回数（約226回）と比べて約1.5倍に増加し、1時間降水量80mm以上の平均年間発生回数（約24回）は、統計機関の最初の10年間の平均（約14回）と比べて約1.7倍に増加している。



【図】 全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年劣化（1976～2023年）

出典：気象庁

■ 西日本管内の激甚化・頻発化する災害について

◆ 近年、激甚化・頻発化する豪雨によるNEXCO西日本管内での災害事例。

土砂災害

H26年8月

広島豪雨災害

2014年8月19日～20日

H29年7月

平成29年九州北部豪雨

2017年7月5日～6日



H30年7月

平成30年7月豪雨

2018年7月3日～8日



R1年

令和元年集中豪雨

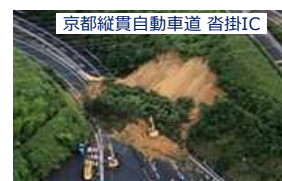
2019年7月3日～6日、8月26日～28日、9月3日



R2年7月

令和2年7月豪雨

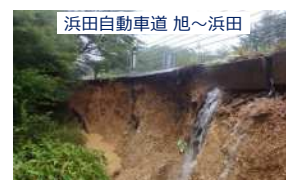
2020年7月3日～10日



R3年8月

令和3年8月大雨

2021年8月11日～22日



R5年7月

令和5年7月の大雨

2023年7月7日～10日



■ 集中豪雨・台風への日頃からの備え

集中豪雨や台風等への対策として、排水不良の未然防止のため、のり面等などの排水設備の清掃・点検、改修等を行っている。



【排水溝清掃】



【不具合のあった排水柵の改修後】

■ 台風の影響による早期の交通確保への取り組み

台風や大雨等の影響により、路面に大量の枝や落ち葉・枯れ葉等が散乱する。散水車等での清掃や人力での清掃作業を行い、早期の通行規制解除に努める。



強風による落ち葉等の散乱



前面散水車による路面清掃



ブローア搭載車両の活用



台風による倒木の伐採



ホイールローダーによる集積・清掃



人力によるブローア清掃

大雨等の悪天候が予想される場合には、気象会社より詳細な気象予測を入手のうえ、高速道路の影響に鑑みて、事前に通行止めの可能性についてお知らせをする。この際には、**4 8 時間以内に通行止めの可能性がある区間**を**MAP表示**を行い、予測時間を着色別に凡例表示するなど、分かりやすくNEXCO西日本のHPへ掲載し情報提供を行う。



令和 5 年 8 月 15 日
08 時 00 分現在
西日本高速道路株式会社

お知らせ

台風7号の影響により

近畿地方、中国地方で通行止めが予想されています【第5報】
～最新の交通状況をご確認いただくとともに不要不急の外出は控えください～

○令和5年8月15日(火曜)から16日(水曜)にかけて、台風7号に伴う大雨及び強風の影響により、近畿地方、中国地方の広い範囲の高速道路において通行止めの可能性があります。
今後、通行止めの可能性がある道路区間は別紙のとおりです。
(この予想は、8月15日(火曜)07時時点の気象予測をもとに作成しています。)

○開空道路は、現在、強風により通行できません。また、新名神高速道路や中国自動車道など東西を結ぶ幹線ルートで通行止めが予想されています。お出かけ前に最新の気象情報や交通情報を確認していただくとともに、不要不急の外出は控えていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

○高速道路及び直轄国道における通行止めの可能性について、関係機関合同で公表しておりますので、あわせてご確認ください。

https://www.kkrnll.jp/news/press/2023/08/0000002/sb_atl/20230814news02.pdf

■お出かけ前に入手できる道路交通情報

① アイハイウェイ

24 時間、高速道路の道路交通情報をマップや文字情報で確認できるサービスです。次のURL からアクセスしてください。(パソコンから閲覧できるウェブサイトのほか、スマホアプリもあります)

<https://highway.jp/>



※QR コードはこちら

※情報提供は無料ですが、通信料はお客様の責任となります。

② 国土交通省交通情報センター (JART)

・インターネットからのアクセス

次のURL <https://www.jartbo.or.jp/> からアクセスしてください。

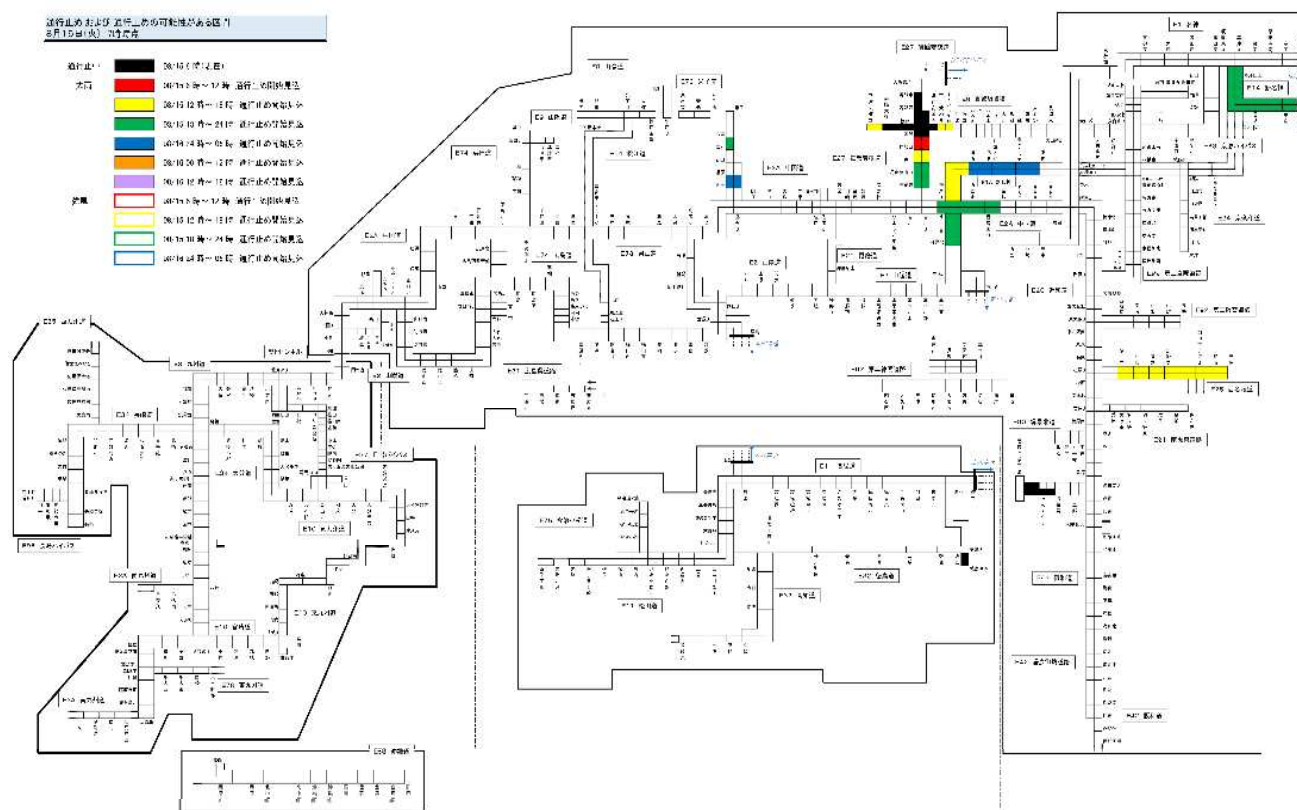
・電話からのアクセス

全国共通ダイヤル 050-3369-6666、または、携帯電話で「48011」におかけいただくか、最寄りの交通情報センターに電話します。

近畿地方・奈良情報:050-3369-6759

中国地方・広島情報:050-3369-6769

四国地方・高松情報:050-3369-6779



【事前通行止め可能性MAPのHP公表事例】

■ 広報について

交通状況等の提供アプリであるアイハイウェイで、リアルタイム交通情報として、雨による通行止めや災害による通行止めなどをお知らせする。

- アイハイウェイ（NEXCO西日本） <https://ihighway.jp/>
24時間、高速道路の道路交通情報をMAPや文字情報で確認することが可能



- 高速道路影響情報サイト <https://ex-ssw.com/>
高速道路各社のホームページに掲載している重要なお知らせを確認することが可能



- 日本道路交通情報センター（JARTIC） <https://www.jartic.or.jp/>
一般道を含めた道路交通情報を確認することが可能

- 災害が発生した場合は、被害の状況や復旧作業の状況、通行止めの解除見込みや解除情報等、状況に応じて、記者発表やHPおよびSNSなどの広報媒体を活用のうえ、臨時情報を発信する。

西日本

【例：記者発表】

【例：SNSによる広報】

■ 運輸事業者さまへのお願い（参考_災害等による通行止め等の広報_九州地整）

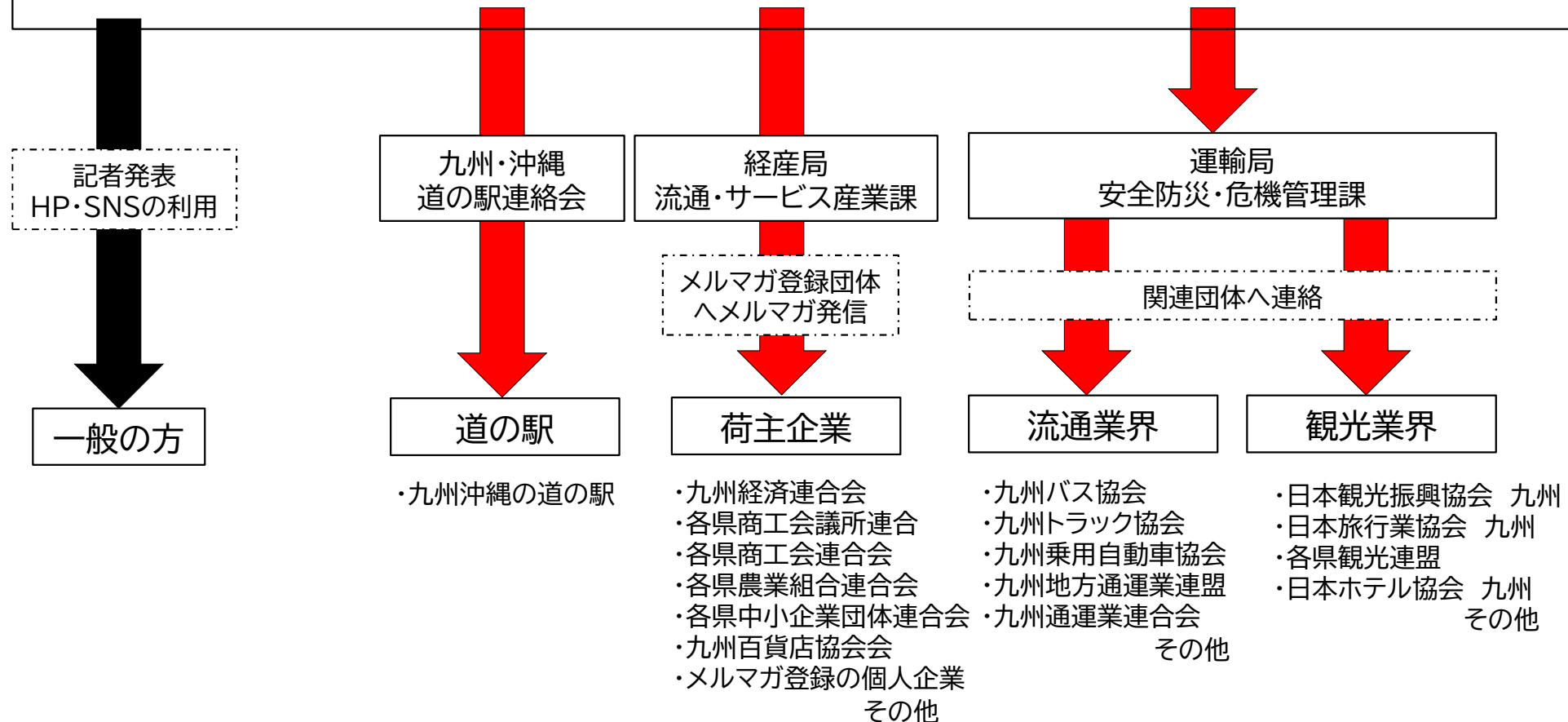
道路管理者(九州地方整備局、NEXCO)から提供する一般の方への情報提供に加え、関係機関(道の駅連絡会、経産局、運輸局)の協力のもと、関係団体(道の駅・流通・荷主・観光業界等)へ幅広い情報提供を実施

【提供する情報】

■ 通行止め情報、広域迂回に関する情報(整備局単独、NEXCO単独、整備局・NEXCO共同)

■ 大雨影響に伴う高速道路通行止めの可能性(整備・NEXCO共同)など

九州地方整備道路部、西日本高速道路(株)九州支社



◆ NEXCO西日本は、出水期の高速道路を安全にご利用頂けるよう、道路交通の確保に全力で努めます。

◆ 加えて、情報発信を積極的に行います。

☞ 運輸事業者様、荷主企業様におかれましては、大雨等の悪天候が予想される場合には、気象会社より詳細な気象予測を入手のうえ、NEXCO西日本からの各種の情報にご注視をお願いします。

☞ また、特に大雨予測がある際は、NEXCO等から発信される情報に基づき、運行の調整等へのご協力をお願いします。

◆交通状況等提供アプリ（アイハイウェイ）では、リアルタイム交通状況として、雨による通行止めや災害による通行止めをお知らせしています。
大雨が予測されているときなどのお出かけの際には、最新の交通情報をご確認いただきますようお願いいたします。